

令和8年度並木地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

【金沢シーサイドタウン地区】昭和50年代から作られた大規模な団地地区。高齢化率は地区全体では40%程であるが一丁目では約45%と非常に高い。エレベーターが無かったり、隔階止まりだったりする住宅が多く、歩行が困難になると閉じこもりとなるリスクが高くなる。

【富岡第一地区】丘陵地の戸建住宅からなる地区。高齢化率は25%程であり、戸建て分譲住宅に子ども連れ世帯が転居している。商店が少なく、バス路線から買い物は杉田方面に行く方が多い。丘陵地であるため、歩行が困難になると閉じこもりのリスクが高くなる。

【今後の方向性】できるだけ住み慣れた地域で自立して生活していけるように、フレイル予防・介護予防を進める。介護保険以外の社会資源を把握・発信・活用し、高齢者の生活を支える。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☒	☐	通いの場連絡会をチームオレンジと連動して開催し、認知症や身体機能低下があっても通い続けられる場づくりに向けた課題共有と連携強化を図る。
☐	☒	認知症への理解・普及啓発をチームオレンジの活動を通じて地域で推進する。
☐	☒	担当地区における地区社協及び民児協定例会への定期的に出席し、顔の見える関係づくりを行うと共に、地域ケアプラザの自主事業の発信や、相談傾向の共有、個別ケースの相互相談等を実施する。
☒	☐	第5期地域福祉保健計画 地区別計画について、地区支援チームの中でも最も地域に身近な支援機関として地域と共に推進する。
☐	☒	特定の分野に限らず、地域主体となっている活動に積極的に参加し、地域と課題を共有しながら、必要な機関や事業者とのネットワーク構築を働きかける。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント